

## CPD セミナー【高知会場】20130927

### 第22回CPDセミナー・公開講座及び修習技術者セミナー(高知)

平成 25 年 9 月 27 日 (金) に「高知会館」において行われました。(参加者 20 名)

最初に (公社) 日本技術士会四国本部の右城副本部長より開会の挨拶がありました。



右城副本部長の挨拶

### 〈修習技術者セミナー〉

演題：「技術士制度と試験制度」

講師：修習技術者支援委員長 友近 榮治 氏

(公社) 日本技術士会の概要、(公社) 日本技術士会四国本部のミッション・ビジョン、組織、活動内容等の紹介がありました。また、修習技術者が技術士として活躍するため、技術士と技術士制度、JABEE 認定課程修了者と技術士、技術士第一次・二次試験の概要、技術士になって (若手技術士の姿) などについて詳しく説明がされました。



友近委員長の講演

### 〈CPD セミナー〉

演題：「民衆のために生きた土木技術者たち

青山士<sup>あきら</sup>、宮本武之輔<sup>たけのすけ</sup>、八田與一<sup>よいち</sup>」

講師：大成建設(株)編集ビデオ

明治後期から昭和初期にかけて国内外で活躍した日本の偉大な土木技術者がビデオシアターで紹介されました。

青山士<sup>あきら</sup>は中米のパナマ運河の建設工事や 20 世紀国内最大事業といわれる荒川放水路(東京)の最重要難関の岩淵水門を建設しました。

宮本武之輔は信濃川の大河津分水路改修事業で可動堰の工事を担当しました。集中豪雨による河川氾濫の危機に遭遇した際、村人を守るため完成間近の堰が破壊されるのを覚悟で仮締切りを撤去し、見事な決断で村を守りつつ 1 ヶ月の遅れのみで可動堰を完成させました。

八田與一<sup>よいち</sup>は日本統治時代の台湾に渡り、嘉南大圳水利事業で当時東洋一の規模を誇る烏山頭ダムや灌漑用水などを建設し、不毛地帯であった嘉南平野を台湾一の穀倉地帯に変えました。

彼らはいずれも東京帝国大学土木工学科で廣井勇教授の薫陶を受け、単なる土木技術者としてだけでなく、国のため人のために思うという清廉潔白な使命感のもと、人々に安全で豊かな暮らしと夢のある社会をもたらしてくれました。



ビデオ鑑賞

## 〈公開講座〉

演題:「人材育成と技術継承についてのパネルディスカッション」

コーディネーター:

四国本部会員 山本 克彦 氏

パネラー: 四国本部副本部長 右城 猛 氏

四国本部幹事 森 直樹 氏

四国本部会員 和田 達夫 氏

人材育成と技術継承には、優秀な指導者や先輩の存在、被指導者の自己見識の確立と積極的な係わり、コミュニケーションのできる職場環境、技術力・マネジメント力などの総合力を習得できる組織体制、発注者・コンサルタント・建設会社が一体となった魅力のある業界など、様々な条件の整備が必要であると、パネラーだけでなく参加者からも意見が出され、活発な討論が行われました。

最後に、山本氏が司馬遼太郎氏の土木学会 80周年記念講演での言葉「土木をやる人は社会科学とか文学的なデリカシーのある教養の固まりのような人でなければならない」を紹介し締めくくられました。



パネラーの和田会員、森幹事、右城副本部長



参加者からの意見



パネルディスカッション



コーディネーターの山本会員